

エヌエーイーディー
ナムブドゥリパッドアレルギー除去療法（NAET®）を
始める前に必ずお読みください。

はじめに

NAET®治療を希望される患者様は、初回治療前に「病気よ、さようなら」に目を通しておいってください。NAET®は身体のエネルギーバランスを整える治療法です。東洋医学では、ほとんどの健康に関する問題は、身体エネルギーの不均衡が原因とされています。よって人間の身体エネルギーを均衡のとれた状態に維持することで、病気を患いにくくなります。NAET®理論によると、アレルギーはエネルギー経路、あるいはエネルギー通路におけるエネルギーの不均衡を招きます。エネルギーの遮断は、ある物質に対する特定のアレルギー反応を引き起こす主な原因となります。あるアレルゲンによってもたらされたエネルギー遮断がNAET®により取り除かれると、その特定のアレルゲンに対して、エネルギーの反発によるアレルギー反応を以前のように引き起こさなくなります。NAET®は刺激の少ない、エネルギーバランスを整える、非侵襲性のやさしい治療です。過去 20 年間の臨床において、反発性の長期的な影響をもたらしていません。NAET®の治療を受けている間、患者様は自分の症状をコントロールするために必要な薬・治療・その他の方法を中断する必要はありません。患者様はNAET®の治療を受けながら、かかりつけ医の治療を受け続けていてください。もし特別の疾患を患っているなら、適切な専門医から自分の疾患に関連した十分な治療を受ける必要があります。NAET®はエネルギーの遮断を取り除く治療法にすぎません。NAET®だけで全てをまかなえるという全科医療の方法ではありません。

初回の治療の前に

- ❖ 初めて来院した際、この案内は患者様ご本人、または保護者・介護者の方に渡されます。検査等の前にこの注意点をよくお読みになって、治療担当者の指示に基づき治療を継続していただくこととなります。
- ❖ すべての過去の医療記録、検査結果、画像のコピー（必要時）をご持参ください。そして以下の書類に漏れなくご記入ください。個人情報、過去の病歴、現在の症状および経過、同意書等。
- ❖ ピーナッツ・魚貝・卵・そば・小麦・牛乳など、ある特定の物質（アレルゲン）に対して過去にアナフィラキシー反応を起こしたことがある場合、治療担当者に検査を受ける前にお伝えください。そうすることによって治療担当者は、アナフィラキシー反応を起こさないよう事前に注意を払うことができます。
- ❖ 繰り返しますが、アナフィラキシーの病歴は必ず初回来院時にお伝えください。アナフィ

ラキシーの病歴がある場合、患者様ご本人にではなく、必ず代理人を通してその治療を行います。治療毎にすぐ両手を洗ったり、こすったりしてもらう必要があります。基本的な食品（卵・牛乳・小麦・魚介等）に重篤なアレルギーやアナフィラキシーの病歴があれば、これらのアレルゲンはそれ以外の基本的な食品および栄養素 15 項目を終了してから治療を開始します。重篤な反応を引き起こすアレルゲンを治療する際は、治療後 20 分休憩の間、このサンプルを保持する必要はありません。

- ❖ NAET®のアナフィラキシー治療手順は厳密に守らなければいけません。治療担当者は患者様に最良と思われる適切な方法を用い、適切な指示を出します。

治療が始まる前に

- ❖ 治療のため、または付き添いとして来院するときには、香水、コロン、香料の強いシャンプー・リンス・石けん・ヘアスプレー・ヘアムース・アフターシェービングローション等をつけてこないでください。また、ニンニク、魚、ハーブなど、強い匂いが残るようなものは直前に食べてこないでください。アレルギー反応の原因と疑われるものは、蓋をした薄いガラス瓶（蓋付きのジャムやベビーフード等の空瓶）に入れ、さらにビニール袋の中に入れて状態でご持参ください。強く反応するものはガラス瓶ではなく、プラスチック製の容器に入れてきてください。
- ❖ 治療院の中に喫煙所はありません。喫煙される方は、タバコのおいが衣服に付きますので、治療前にはタバコをお控えください。または十分消臭してからいらしてください。香料・香辛料・汗・タバコなどのおいのしない清潔な衣服を着用してきてください。においがするような場合は、治療前にシャワーを浴びてきていただいたほうがよいでしょう。これらのさまざまなにおいは、待合室や治療室にいる他のアレルギー患者様に不快な刺激となり、アレルギー反応を誘発する恐れがあります。同様の理由から、待合室での飲食はどうぞご遠慮ください。
- ❖ 治療を受けるときは、事前に貴金属類・時計等をお外しになり、着用は最低限にとどめてください。シンプルな腕時計なら構いませんが、各種機能付き腕時計や携帯電話は外しておいてください。またエネルギーが強いので大きな水晶やダイヤモンドは必ずお外してください。治療を受けるときの服装は、装飾のないシンプルでゆったりとしたものがよいでしょう。
- ❖ 刃物やライターなどの危険物は、治療室内に持ち込まないでください。
- ❖ 待合室および治療室では、携帯電話のスイッチは必ずオフにしておいてください。敏感な患者様は、携帯電話の電磁波にも反応することがあります。検査・治療の精度が落ちますので、携帯電話は必ず電源を切り、身体から遠ざけておいてください。

- ❖ 脱水気味や空腹状態の患者様は、検査の精度が落ちるため正確な NAET®治療を受けられない恐れがあります。よって必ず来院前に軽く食事をしてからいらしてください。治療室で長時間待つような場合、あらかじめ軽食などを持参して、治療院の外または車の中で治療前に召し上がっていただけます。その後は手を石けんで洗い、口もすすいでおいてください。乳幼児の場合、治療前に母乳を与えるか、スナックなどを軽く食べさせてから治療に入るとよいでしょう。
- ❖ 神経筋敏感検査（NST）の直前に、必ず石けんで手を洗います。手を洗うことで、手に残っているであろう他の物質のエネルギーを取り除くことができます。
- ❖ 極度の疲労時、夜勤の後、休みなく長時間勤務した後など、身体に NAET®治療を受け入れるだけのエネルギーがない場合、その日は NAET®治療を行うことはできません。

治療に際して

- ❖ 治療の間、治療者及び患者様のエネルギー磁場内（3m程）に、治療上必要である代理人以外の同伴者が近づくことはできません。第三者の介入はエネルギー磁場を変化させ、検査・治療の精度が落ちてしまいます。よって NAET®の検査及び治療時は、治療者と患者様（および代理人）だけになる必要があります。
- ❖ NAET®は心身のエネルギーバランスを整えるための治療法であるため、治療者はその前に患者様の身体から、意識上及び無意識上の許可を得る必要があります。治療同意書の署名は、意識上の許可です。そして無意識上の許可も、NAET®治療を成功させるために不可欠となります。訓練された NAET®治療者は、数秒でこの無意識上の許可を確認することができます。稀に無意識上の許可が得られない場合があります。このような場合は、NAET®検査及び治療は行えませんので、治療者は適切な他の医療機関等を紹介するでしょう。
- ❖ NAET®治療者は、特定のアレルゲンに対する脱感作治療の前にも、患者様の無意識から治療の許可を得る必要があります。予定していた新しい治療項目に患者様の身体（脳）が許可を出さなければ、その日は別の項目を治療します。当初予定していた項目は治療許可がおりるまでの間、一時保留となります。これは一見遠回りのように思えるかもしれませんが、患者様の最良の利益及び結果をもたらすために大変重要なことです。アナフィラキシー治療の場合も同様で、基本的項目が終了した後、患者様の身体（脳）から治療許可が得られると、例え重篤なアレルゲンであってもその脱感作治療は成功することがわかっています。極度に疲労・衰弱している場合や、連続治療を受けている場合、治療前の確認で治療自体の許可がおりない時は、患者様の身体（脳）がさらに NAET®治療を受けてもよいと許可するまで、数日間休んだり、カイロプラクティックや鍼灸・マッサージ、ヨガなど免疫機能を高めるその他の治療法を併用することも可能です。

- ❖ 異なるサンプルを手を持ち NST を行う際は、各々の間に 30 秒ほど手をこするとよいでしょう。前に検査したサンプルのエネルギーが手に残ったままですと、新しいサンプルに対する検査が正確でなくなる恐れがあります。
- ❖ NST 検査や NAET®の脱感作治療を受けている間、アレルゲンを保持していない方の手は、軽くこぶしを作り、治療ベッドや衣服等にセンサーである指先が触れないようにしてください。
- ❖ NST 検査及び NAET®の脱感作治療の最中には、ガムやキャンディー等を口にしないでください。
- ❖ 第三者のエネルギー磁場は患者様の検査・治療に影響しますので、治療上必要な代理人以外の方が治療中近づくことはできません。治療後各アレルゲンから離れるべき距離は、一般的には 3m程ですが、正確には患者様ごとに異なります。NAET®治療者はこの距離を決める方法を知っていますので、治療前に確認し患者様に伝えます。
- ❖ もし患者様がご自身で検査・治療が困難な場合（小児、高齢者、筋力が強すぎる・弱すぎる、障害者、妊娠後期、発熱時、ぎっくり腰などの急性疼痛時、肩の問題等）は、確実な検査及び治療の効果を得るためにも代理人を介して行うことが好ましいでしょう。患者様と代理人は直接の皮膚を接触させた状態で検査及び治療を行います。この時代理人は、異なるアレルゲンを検査する毎に、両手をこする必要があります。この代理人は、患者様の無意識が許可すればどなたでも結構です。逆にたとえご家族であっても無意識の許可がおりなければ患者様の代理はできませんので、その理由もいずれ治療する必要があります。
- ❖ 代理人の身体を通じて脱感作治療を行っても、自分が直接受けた場合と同様の正確な治療効果を得ることができます。妊娠後期・病的な肥満・乾癬やその他の衰弱性の皮膚疾患・腰部手術後・強度の側彎・アナフィラキシーの病歴を持つ患者様等は代理人を介して治療を受けることを勧めます。

最も基本的でかつ重要な 15 項目の治療

- ❖ NAET®基本 15 項目の治療は、実際誰にとっても必要不可欠な基本的栄養素及び食品から成り立ちます。もしそれらにアレルギーがある場合、身体はその栄養素及び食品を十分に消化・吸収することができません。よって摂取不足ではなく、栄養素及び食品アレルギーによってもたらされた栄養不足のために免疫系や各種内臓の働きが弱まり、さまざまな健康問題を招く恐れがあります。免疫系が正常に機能しはじめると、アレルゲンに対する感受性は抑えられ、その結果より少ない治療で最大の効果を挙げることができるようになります。

基本項目の順番通りに治療を進めない場合

- ❖ 白米やパスタ(麺類) にアレルギーがあり、かつ身体(脳)からの治療許可が得られた場合は、基本 15 項目の前にそれらの治療をすることができます。
- ❖ 処方薬など避けがたい項目にアレルギー反応を示した場合、基本の 5 項目の終了後にそれらの治療をすることができます。治療後 4 時間は服用できません。薬の治療後は 2 時間毎にゲートマッサージを 25 時間行い、その間は薬を服用する前後にもゲートマッサージを追加します。
- ❖ 急性症状の場合、身体(脳)の治療許可が得られれば、基本の 15 項目の前に緊急のアレルゲンとしてその場で治療することができます。例えば、最近口にした特定の食物に反応した時、不可欠な薬(鎮静剤・ステロイド剤・抗ヒスタミン剤・抗うつ剤・循環器系の薬など)に反応した時、有毒な煙や火煙などにさらされた時、飲料水・水道水に反応した時、風邪やインフルエンザなど急性の感染状態にある時、愛する人を突然失ったというような感情的なショックを受けた時などがこれに当てはまります。急性反応の場合、緊急のアレルゲンに対する脱感作治療が終了したら、再び基本項目に対する治療を完成させることで身体機能が正常に保たれ、治療効果が十分に発揮・保持されるようになるでしょう。
- ❖ 強いアレルギー反応が、花粉・雑草・タバコの煙・化学療法薬・抗生物質などの定期処方薬、または特定の人にある場合は、身体の中でも特に脳の機能回復に不可欠な基本 6 項目までが完全にクリアして、かつ身体(脳)の治療許可を得てからそれらの治療に入ることができます。

毎回の治療中および治療終了後における注意点

- ❖ NAET®治療および待機中は手指が他の物に触れないようにするため、本を読んだりなさらぬようお気をつけください。指先から得られた本などのエネルギーを脳がキャッチし、治療が混乱するのを避けるためです。
- ❖ NAET®治療および待機中は、手足を組まないでください。これもエネルギー循環の中断や混乱を避けるためです。待機中はリラックスし、落ち着いた気持ちで横になったり、休憩しているのがよいでしょう。その間に身体をめぐる 12 の経絡をポジティブで暖かいエネルギーが流れているようイメージしたり、治療した問題点に対してポジティブに考えているのもよいでしょう。ゆったりとした呼吸で瞑想をしても結構です。
- ❖ 治療後、帰る前に水道水で手を洗ってください。これは治療によって手指に残ったアレル

ゲンのエネルギーをきちんと落としておくという意味があります。もし洗うことができないければ、手指全体を 30 秒間よくこすり合わせてください。

- ❖ NAET®治療後 6 時間は、身体エネルギー循環を乱す恐れがあるため、体力を消耗するような激しい運動はしないでください。軽いウォーキング程度なら構いません。
- ❖ NAET®治療後 6 時間は、体力の消耗を避けるために、入浴・シャワーは控えてください。
- ❖ NAET®治療後 25 時間は、体力の消耗を避けるために、極端に暑い・寒い所に行くことは控えてください。
- ❖ 治療終了後、検査に基づいて 25 時間もしくはそれ以上の間、脱感作治療を行ったアレルゲンを避ける（食べない・匂いをかがない・触らない・近づかない）よう指示されます。基本的には治療したエネルギーが 1 2 の経絡（全身）をめぐるのに 24 時間かかりますので、念のため 1 時間を加えて 25 時間アレルゲンを避けることで、脳の混乱を防ぎ、治療を確実に保持することができます。また各々の物質が持つエネルギー磁場は、最低でも 1.5~3m 程ですから、この範囲内にも近づかないよう配慮しなければいけません。
- ❖ アレルゲンに対する脱感作治療終了後も、3~4 日間はそれを含む食品は少量ずつ召し上がることを勧めます。もし治療が完全でなければ、治療中および治療後に何らかの症状が誘発される場合がありますが、その原因を見つけ追加治療することでそれらの症状は解決できます。アレルゲンに対する脱感作治療が完了することによって、そのアレルゲンの無害さを、脳や神経系は新たに認識または再認識することができます。治療が完全にクリアしていれば、そのアレルゲンを治療後たとえ何年も口にしていなかったとしても、その無害さを脳や神経系が忘れてしまうようなことはありません。
- ❖ NAET®治療の基本 3 項目が終了したら、そのアレルギー性が軽減したグループの食品だけを摂取していくことを勧めます。そしてそれぞれの治療が完了するにつれ、新しい項目を食事リストに加えていきます。こうすることによって、残りの治療が完了するまでの相対的な不快感が減るとともに治療効率が上がり、治療効果をより早く実感することができます。治療計画は、個人の免疫力に応じて立てられます。重症アレルギーや免疫力低下のある患者様は、週 1 回程度の治療を受けることができます。比較的免疫力が強く保たれている患者様は、週 3 回以上の治療にも耐えることができます。適切な治療計画を立てるためにも、NAET®治療者は患者様に必要な治療回数や頻度を確認することができます。
- ❖ 遠方からの患者様や集中治療を希望される患者様は、4~5 時間間隔で 1 日に 3 回ずつ治療を受けることができます。ただし、身体（脳）が連続治療を許可しない場合はできません。

- ❖ アレルギー性の強い過敏体質の患者様は、治療後 25 時間の回避の期間に様々な症状（異常な感情の起伏・憂うつ・身体の特定位の異常な痛み・めまい・不眠・自覚症状の悪化など）を自覚することがあります。このような場合は、起きている間は 2 時間毎にゲートマッサージを継続する必要があります。寝ている間までわざわざ起きてマッサージする必要はありませんが、目覚めたときには再び行ってください。また感情的な問題が湧き上がってきて落ち着かないというような場合には、そのことをイメージしながら感情の自己治療を行うことを勧めます。25 時間の回避時間を過ぎてもその症状が続いている場合は、治療が完全に成功していない可能性が高いため、すぐ再受診して追加治療をうけることを勧めます。また遠方の患者様ですぐに受診できない場合は、症状が落ち着くまで 2 時間毎およびアレルギーにさらされる（食事など）前後のゲートマッサージを続け、次回の治療時まで前回治療したアレルギーを極力避けておくべきでしょう。
- ❖ NAET®治療後 25 時間の回避が難しい場合、QRT（質問反応検査）によって、おおよその回避時間を決めることができます。幼児や小児の場合、25 時間もの回避が必要ない場合が多いため、回避が難しい項目を夕食後に治療することで、回避のわずらわしさを省くことができます。
- ❖ 特別な理由で治療後の回避が難しい場合、起きている間は 2 時間毎およびそのアレルギーにさらされる前後にゲートマッサージを行い、エネルギーバランスを整えておくことを勧めます。発達障害や身体障害のある患者様の場合、保護者および介護者・家人に 2 時間毎のゲートマッサージを指導します。また未治療のアレルギーがもたらす様々な不快症状をコントロールしたり、軽減させるためのマッサージポイントは NAET®治療者にご質問ください。または Living Pain Free（近日発売予定）をご参照ください。
- ❖ NAET®治療の最終確認後 20 分間は、治療したアレルギーを含む食物を食べても、何ら問題はありません。25 時間の食事制限は、治療終了後 30 分後から始まります。NAET®治療や鍼治療の前後は、胃にもたれるほどたくさん食べないでください。NAET®治療前には、コップ 1 杯の水を飲んでください。十分に水分が補給された身体は、エネルギーの循環が活発になります。治療によって血液中に排出されてくる有害物質の排泄を促すためにも、1 日にコップ 4～6 杯の水、またはカフェインの少ない飲み物をお飲みください。
- ❖ 治療のたびに NAET®ガイドブック（近日発売予定）に治療内容と食事内容の記録をつけておくとういでしょう。治療後 25 時間に起こったすべての症状を、その良し悪しも含めて記入し、次の治療の時に治療担当者にお見せください。たびたび何らかの症状がありながら、原因がはっきりしない場合は、別のノートに 1 ヶ月間の毎日の食事・活動内容・症

状の有無とその程度(一番ひどい状態を 10 として、その日の自覚症状はいくつくらいか)を記録し治療時にお持ちください。治療担当者は、記録された物の中から犯人を探しだしていくでしょう。そして症状が現れた時や悪化した時には、その時間・どこで誰と何をしていたか、飲食中または飲食後であれば、自分と同伴者の飲食内容、そしてその症状はどのくらいで改善したか、何か薬品を使用したか等の詳細をご記入ください。たとえ少量でも、摂取したすべての飲食物を記録しておいてください。

- ❖ 食時後頻回に症状が起こるような場合、毎回の食事内容を少量ずつガラス瓶にまとめて入れ、次の食事まで冷蔵庫に保存しておきます。次の食事までの間に何らかの症状が現れた場合、そのガラス瓶を持って 10 分毎に 2 時間ゲートマッサージを行います。かかりつけの NAET®治療者が近所であれば、それを持参して治療してもらいます。次の食事まで何も症状が起これなければ、ガラス瓶の中身を捨て洗浄後、次の食事内容をまた同じように少量ずつ入れて冷所で保存しておきます。
- ❖ ミネラル Mix、金属、水、皮革、ホルムアルデヒド、織物、草木、ほこり、ダニ、カビ、水銀、新聞紙、化学物質、花粉などの環境物質の治療を受けた場合、特別な注意が必要になります。これらの項目から離れなければいけませんので、必要に応じて、マスク・手袋・靴下・靴・上着・スカーフ・耳栓などをつける必要があります。またこれらを完全に回避することが難しい場合は、回避時間中で起きている間は 2 時間毎にゲートマッサージを続けてください。
- ❖ 治療後 25 時間以内、またはそれ以上経過した際、アレルギー(治療したものもしくはそれ以外)によって生命に危険を及ぼすような強いアナフィラキシー反応がおきた場合は、直ちに救急病院へ行き、必ず適切な緊急処置を受けてください。そしてアナフィラキシー反応が一段落したならば早めに再来し、その原因を検査・治療する必要があるでしょう。
- ❖ 治療の途中で月一回位は、今まで治療したすべてのアレルギーに対して NST で再検査します。これは基本 10~15 項目が終了してからも構いません。もし治療したアレルギーが 50%の最低ラインはクリアしているが、まだ完全なレベルでない場合、完全にクリアするまで追加治療を行います。この追加治療の際には、治療項目の回避は要りません。
- ❖ 基本 15 項目の治療後、毎日の飲食物をガラス瓶に少量ずつ集め、それを手に持ち就寝前にゲートマッサージすることで、組み合わせの治療にもなりますのでお勧めします。
- ❖ エネルギーをより循環させるために、起床時と就寝前にコップ 1 杯の水を飲んでください。
- ❖ 治療後 1 週間以内には、前回の治療が完了しているかどうかの再検査を受けてください。

NAET®治療に関する補足説明

- ❖ NAET®はホリスティック（総合的）な治療法です。全身のさまざまな機能が、身体的（構造）・生理学的・精神的（感情）、これらすべてのレベルにおいて調和の取れた状態へと導きます。真の意味で健康的かつ快適な生活を手に入れるには、誰もがこれらすべての次元においてバランスが取れている必要があります。たとえアンバランスがひとつの次元において生じていたとしても、それが結果的にはほかの次元の機能にまで影響してしまいます。NAET®の感情バランス療法は、多くの素晴らしい結果を残してきました。環境物質・化学物質に対する疾患、慢性・急性の疼痛疾患、その他の慢性疾患、自閉症、多動症など多くの症例により結果を示しています。この感情バランス療法に関しての追加料金は一切必要ありません。
- ❖ NAET®の感情バランス療法は、精神医療において必要とされている心理および精神療法の代替ではありません。ですから NAET®治療以前にこれらの治療を受けている場合も、その必要とされる治療や服薬を続ける必要があります。また何らかの理由で NAET®感情バランス療法を希望されない場合、あらかじめ治療担当者にその旨を伝えておいてください。そうすれば治療者は、患者様の治療計画から感情バランス療法を除くことができます。
- ❖ NAET®治療を最後まで終了しなかった場合、あるいは事情によりある特定の項目に対する治療が完了できなかった場合においても、不安になる必要はありません。NAET®はエネルギーバランスを整える為の、非刺激性・非侵襲性のやさしい治療法です。過去 20 年間の臨床において、誰にもエネルギーの反発による長期的影響を引き起こしていません。一時的な不快症状は、不完全な治療によるものかもしれません。また治療によっては、それらの不快症状は最高 2~3 週間続くこともあります。そのような場合には、毎日湯冷ましのようなカフェインレスの温かいものを 4~6 杯飲んだり、起きている間 2 時間毎にゲートマッサージを続けることで、体内のエネルギー循環を良好に整えておきましょう。
- ❖ 特定の愁訴・症状が消失した後も、不完全治療または未治療のままのアレルゲンを放置しておくことは、症状の再発を招く可能性があります。例えば NAET®治療前に患っていた不眠が治療後解決しても、しばらくして不眠が再発するとか、軽減していた痛みが再燃してくるなどです。特に治療途中のアレルゲンは、患者様に少しの利益ももたらさないことがわかっています。なぜなら人間の身体（脳）は忘れやすく、新しい様式にすぐ適応するからです。アレルゲンに対する不完全な治療による効果は、大抵 3 日~1 週間で忘れられてしまいますが、中には 3 週間程続くものもあります。その後身体（脳）は現在の出来事に焦点を合わせるようになります。従って治療後数日たつと、身体（脳）は不完全な治療を受けたアレルゲンを未治療のものと同みなしてしまうのです。

- ❖ しかし特定のアレルギーに対する NAET 治療を中止せざるをえない場合、例えば治療に通うための交通手段がなくなったとか、急な引越し等、その特定の項目に対するエネルギーバランスを自宅で自分で整えることが可能です。起きている間 4 時間毎にゲートマッサージ、これを 2~3 週間続けます。この期間は、アレルギーによるエネルギーの反発が起きなくなるまで、言い換えれば、身体（脳）がそれをアレルギーと認識しなくなるまでです。個人差は多少あるでしょう。この方法は、NAET 治療者が最初に治療をしたものの、事情により治療が終わっていない場合にのみ上手くいきます。発酵パン生地、肉、あるホットドック、下剤、鎮痛剤、他の薬剤、特定の織物(シャツ・スカーフ)等、複雑でない個別の項目であれば、患者様や介護者は、自宅でこのようにして治療を終わらせることが可能です。

注意：これは単一のアレルギーにのみ行うこと。グループとしてまとめて、一群のアレルギーに対しては、決して行わないこと。

- ❖ あるアレルギーの治療が終了して NST が再検査で強くても、患者様の自覚症状がまだ軽減していなかったら、すぐに別の新しい項目の治療に入らず、数日から 2 週間治療をしないで様子を見るのもよいでしょう。事実上これは特定のアレルギーの脱感作治療が成功したかどうかを判断する方法であり、かつ現在の症状が別のアレルギーにも起因しているかどうかを判断する方法でもあります。特定のアレルギーに対する治療が不完全なら、数日経っても NST はその項目や組合せで弱い反応を示します。そこで、アレルギー自体あるいはその組合せの治療を繰り返すことが出来ます。この治療結果の様子を見ている間に、鍼灸・マッサージ・カイロプラクティック・アロマセラピーなどその他の療法によって免疫系を強化させておくのもよいでしょう。あるいは患者様は前出のように、自宅でそのアレルギーに対してゲートマッサージを続けておくこともお勧めします。
- ❖ 患者様の症状は多少改善したが依然続いているような場合で、以前治療したアレルギーに対しては NST が全く弱くならない(その治療は完了している)ということもあります。このような場合、患者様は治療したアレルギーに対するエネルギーの反発は解消できたものの、同様の症状を生み出す別のアレルギーがさらなる犯人と特定されます。大抵アレルギーの病歴のある人は、いくつかのアレルギーに反応しています。よってひとつのアレルギーが脱感作されエネルギーの反発が除去された場合、他の残されたアレルギーに対し、身体（脳）は以前にもまして敏感に反応するようになってきます。従ってその症状に関与するすべてのアレルギーが NAET®で脱感作されるまで、身体（脳）は警告としての症状を自覚し続けるのです。
- ❖ 過去に事故や怪我をした箇所、または現在の仕事で酷使している腰や首肩など、自分の身体の中でも特定の弱い部分に対し、どのアレルギーも影響し、そこに関する症状を引き起こします。この傾向は、喘息・慢性副鼻腔炎・自閉症・注意欠陥多動症・慢性疼痛症の方

によく見受けられます。他に変形関節炎・筋線維痛症・狼瘡・頭痛・片頭痛・背部痛・筋膜痛・末梢神経障害・月経前症候群・不眠症・躁鬱病などの発症パターンも同じです。この機序のために、NAET®の基本 15 項目の治療が完了するまで、このような疾患の症状は大きな変化を認めないということもあります。

- ❖ ある物質にアレルギーがあると、身体は多くの内因性の毒を産生します。あるアレルギーの治療後、12 すべての主要経絡からアレルギーを解毒させるには 24 時間かかります。各経絡毎に 2 時間ずつかかりますので、身体からこの毒を完全に自然排出させるのにそれだけ要するのです。よって NAET®では、24 時間に念のための 1 時間を加えた 25 時間を治療後のアレルギーからの回避時間としています。(24 時間制限と 25 時間制限では、25 時間制限するほうが治療効果が確実との結果が出されています。)治療後のアレルギーからの回避時間中にアレルギーに何らかの形で接触すると、ある経絡では解毒が終わっているから問題なしと認識されるのに、別の経絡ではまだ解毒が終わっていないから有害と認識するため、これらの情報に脳が混乱してしまい結果的には治療が成功しません。患者様の中には、25 時間の回避・制限が必要ない人もいます。全経絡の解毒が治療直後にパスする人もいれば、治療後数時間の回避でよい人もいます。また人によっては 25 時間以上～数日かかる人もいます。一般的には、治療終了と共にアレルギーの解毒が完了していることが NST でわかって、25 時間は治療項目を回避・制限して身体を自然解毒を促すことは患者様の利益に繋がります。また子供は回避・制限が困難な場合が多く、かつエネルギーレベルも高いので、NST で出された正確な回避時間が最低限守られればよいでしょう。食後や夕食後に治療時間を設定するなど、治療後のアレルギー回避が、子供も親も苦痛にならないよう配慮する必要があります。数回の NAET®治療後、ハーブやミネラルなどによる解毒プログラムを受けて、自分の身体システムをさらに清浄にしていくという方法もあります。しかし忠実に 25 時間の回避に従えば、どんな解毒プログラムも必要ではなくなります。なぜなら、身体は機会を与えられれば、やがて毒を自然に排出していく力を備えているからです。
- ❖ 専門医から処方されているすべての薬剤やその他の治療法は、それを処方した医師の指示で中止されない限り、継続する必要があります。薬剤だけでなく、カイロプラクティックやマッサージなどの治療も中断しないで継続してください。またサプリメントに関しては、身体に適合していない場合は、まずそれを中止し、その栄養素の治療を行います。そして必要であればサプリメント自体の治療も行います。栄養素の治療が完了してもなお、身体に栄養素の不足が認められた場合は、治療担当者が指示した適切な量および期間においてサプリメントを摂ることをお勧めします。

- ❖ NAET®治療は他のどんな治療も干渉しないし、干渉されないことがわかっています。薬物やさまざまな治療によって、身体が毒の蓄積から免れ、症状がコントロールされていると、NAET®治療はより効果を発揮することがわかっています。
- ❖ 女性の患者様は、ホルモンバランスの変化を生じやすいので、生理が始まって数日は治療を控えたほうがよいでしょう。
- ❖ 妊娠中の NAET®治療は、母子双方に利益をもたらします。胎児には何ら悪い影響を与えることはありません。妊娠期間中に NAET®で母親の基本 15 項目およびその他のアレルゲンに対する治療を行うことは、つわり・腰痛・妊娠中毒症など妊娠中の母体の健康問題を解決するだけでなく、胎児の将来発症するであろうアレルギー性まで解消することが可能です。よって NAET®を出産前に経験しなかった兄や姉と比べると、胎内で NAET 治療を済ませて生まれた子供はアレルギーが非常に少なく健康的であることがわかっています。
- ❖ 乳児は治療許可に応じて、基本 15 項目の前もしくは途中で母乳の治療を行います。また乳児(母乳)の治療の際、一般的には母親が食事の制限をする必要はありませんが、治療担当者はこれらに関して個別に QRT で確認しますので、その指示に従ってください。
- ❖ NAET®治療が進んでいくと、不足しているビタミン・ミネラル・その他栄養素に対して、適切な量を適切な期間摂取することをアドバイスされます。治療完了後に栄養素を適切に補給すると、栄養素不足による慢性疲労、全身疼痛・関節炎・その他の疼痛疾患などから生じた痛みや不快感は軽減されます。
- ❖ NAET®の基本 15 項目をすべての次元においてクリアしても一向に症状に変化・改善が見られない場合、おそらく NAET®はあなたの健康問題の解決に有効ではないのでしょう。そのような場合は、NAET®治療担当者とはよく相談の上、適切な施設や先生を紹介してもらってください。

著作権 NAET® 2005

この資料の複製は、NAET®受講者にのみ限定されています。

あなたのかかりつけの NAET®施術院

NAET® JAPAN 事務局

代表 増田 裕

〒422-8005

静岡県静岡市駿河区池田 553 GS ビル 1F

TEL 054-265-6131 FAX 054-267-7167